

平成 23 年度 第 2 回土木計画学研究委員会 議事録

日時：平成 23 年 11 月 24 日（木）16:00～17:40

場所：岐阜じゅうろくプラザ

出席者（敬称略）

委員長：小林潔司（京都大学）

副委員長：田村亨（室蘭工業大学），山中英生（徳島大学）

幹事長：兵藤哲朗（東京海洋大学）

学術小委員会委員長：高山純一（金沢大学），学術小委員会副委員長：溝上章司（熊本大学）

春大会運営小委員長：高橋清（北見工業大学）

秋大会開催校代表：高木朗義（岐阜大学）

委員：白水靖郎（中央復建コンサルタンツ）

委員兼幹事：石黒一彦（神戸大学），紀伊雅敦（香川大学），嶋田喜昭（大同大学），鈴木弘司（名古屋工業大学），高見淳史（東京大学），塚井誠人（広島大学），日比野直彦（政策研究大学院大学），武藤慎一（山梨大学），吉田長裕（大阪市立大学）

研究小委員長：竹林幹雄（神戸大学），研究小委員会幹事：柴崎隆一（国総研）

オブザーバー：田中章一（土木学会）

配付資料

資料 1：平成 23 年度第 2 回土木計画学研究委員会議事次第

資料 2：平成 23 年 11 月（秋大会）における委員の交代について

資料 3：自転車空間研究小委員会の改名と継続について

資料 4：土木計画学研究委員会 小委員会・ワークショップ活動状況

資料 5：参考資料・小委員会活動状況

資料 6-1：JSCE2010 の実施状況に関する部門ごとの自己評価（2011 年度）

資料 6-2：学会活動の 4 つの視点からの評価・PR 等様式

資料 6-3：（様式 1）平成 24 年度 事業計画及び予算要求調書

資料 6-4：（様式 2）平成 24 年度 事業計画及び予算要求調書

資料 6-5：平成 24 年度 行事計画書

資料 6-6：平成 24 年度 行事計画収支《予算》書

資料 7：平成 23 年度土木計画学国際セミナー開催実績

資料 8：HP 担当幹事報告事項

資料 9：平成 23 年度ワンデイセミナー・シンポジウム（開催予定）

資料 10：H24 年度全国大会（名古屋）研究討論会企画

資料 11：学術小委員会報告

資料 12：春大会開催校の準備状況

資料 13：「バスサービスハンドブック出版事業運営小委員会」の設置について

**【議事】**

1. 委員紹介

委員会に先立ち、各委員が自己紹介を行った。

2. 委員長挨拶

小林委員長より挨拶がなされた。

### 3. 前回議事録の確認（資料 1）

前回委員会の議事録について確認がなされ、原案通り了承された。後で気付いたことがあれば連絡することになった。

#### 【審議事項】

### 4. 委員の交代について（資料 2）

兵藤幹事長より秋大会以後の学術小委員会委員の交代に関して、委員長として溝上副委員長、副委員長として横浜国立大学の中村先生、また幹事を 2 名体制とし、幹事長に熊本大学の円山先生、幹事に秋田大学の浜岡先生、さらに公募委員として名古屋大学の伊東先生、JICA の古市氏、科警研の森氏の 3 名を推薦したいとの提案があり、承認された。続いて、溝上新委員長より挨拶がなされた。

### 5. 研究小委員会の設置について（資料 3、資料 13）

嶋田担当幹事より活動期間が終了する「自転車空間研究小委員会」から「自転車政策研究小委員会」として改名・継続申請が提出された旨紹介があり、続いて山中小委員長（代表）より趣旨が説明され、了承された。また、兵藤幹事長より「バスサービスハンドブック出版事業運営小委員会（小委員長：喜多秀行（神戸大学）」の設置申請が提出された旨説明があり、了承された。

### 6. 次期委員長、副委員長の選考について

兵藤幹事長より次期委員長、副委員長選考手順については小林委員長とともに相談し、次回春大会時の土木計画学研究委員会にて推薦、審議したい旨説明があり、了承された。

#### 【報告事項】

### 7. 学術小委員会からの報告（資料 11）

高山学術小委員長より資料に基づき、土木学会論文集 D3（土木計画学）の判定会議の結果、土木学会論文賞の推薦、学術小委員会幹事の 2 名体制（任期 2 年：入れ子で交代）への移行、ならびに今後の研究発表会の開催地について報告がなされた。「土木学会論文集 D3（土木計画学）Vol.67, No.5（土木計画学論文集第 28 巻）」には 192 編の論文投稿があり、うち 128 編が採択された。12 月 28 日に発行予定であり、冊子体を廃止して CD-ROM 版のみとする。また、1 年後に J-STAGE（オンラインジャーナル）に掲載される予定であるとのこと。なお、来年より土木学会論文集 D3（土木計画学）への投稿は、投稿時点から 2 年以内の研究発表会で講演されたものを条件とすることになった。

### 8. 2011 年度秋大会の実施状況について

秋大会開催校代表の岐阜大学の高木先生より、大会配布冊子に基づき、研究発表会の会場やスケジュールに関して報告がなされた。

### 9. 2012 年度春大会の準備状況について（資料 12）

高橋春大会運営小委員長より資料に基づき、次回春大会の会場や企画セッション等の予定に関して報告がなされた。企画セッションでは若手論文セッションを復活させる。また特に、企画オーガナイザーの希望提出については、締切が 12 月 2 日と直前に迫っているため、広報を行うことになった。

### 10. 2012 年度秋大会の準備状況について

兵藤幹事長より来年度の秋大会は平成 24 年 11 月 23～25 日に埼玉大学にて行う予定である旨

報告があった。

#### 11. 計画学あり方委員会（副委員長プロジェクト）意識調査実施について

山中副委員長より、計画学あり方委員会において Web を使ったアンケートを実施し、国際・社会活動、後継者の育成などの課題に関して調査する旨報告があり、その協力依頼がなされた。なお、アンケート依頼は過去の研究発表会の参加申込み時における連絡先登録者にメール配信することのこと。また、ip メールでもアンケート依頼を行うことになった。

#### 12. 研究小委員会からの報告（資料 4, 5）

嶋田担当幹事より、資料に基づき、小委員会等の活動状況について報告がなされた。また、活動内容の広報等のため、なるべく各小委員会の HP を作成して頂くよう依頼があった。

#### 13. 幹事会からの報告

##### （1）活動評価・中期目標対応（資料 6-1～6-6）

兵藤幹事長より、資料に基づき、JSCE2010 の実施状況に関する部門ごとの自己評価や平成 24 年度の事業計画・予算等について報告がなされた。資料中で何か問題等があれば別途連絡してほしいとのこと。

##### （2）HP 担当（資料 8）

嶋田担当幹事より、資料に基づき、現在の計画学 HP をより一般向け HP へとリニューアルする案、および前回委員会後の更新内容について報告された。HP のリニューアルについては現段階で予算的余裕もあるため、業者委託も検討し、スケジュールを組んで進めることになった。

##### （3）国際セミナー（資料 7）

高見担当幹事より、資料に基づき、国際セミナーの開催実績が報告された。本年度はこれまで 11 回の開催となっており HP にも掲載済みであるが、セミナーの情報があれば寄せてほしいとの依頼があった。また、随時情報を募集することも検討することになった。

##### （4）ワンデイセミナー・シンポジウム（資料 9）

日比野担当幹事より、資料に基づき、土木計画学ワンデイセミナーおよびシンポジウムの開催予定について報告があった。シンポジウムは秋大会（11/25）において「東日本大震災から学び、東海大地震に備える」、ワンデイセミナーは 12 月 13 日に「社会・経済リスクの下での社会資本整備—応用一般均衡分析の適用と課題—」を開催する。なお、ワンデイセミナーは研究小委員会等で積極的に開催することが重要であるとの意見があった。

##### （5）全国大会研究討論会（資料 10）

吉田担当幹事より、資料に基づき、過去 10 年間における本委員会関連の全国大会研究討論会の実施状況が紹介され、来年名古屋大学での全国大会研究討論会の企画案やスケジュール等が報告された。さらに企画案をつめ、幹事会の審議を経て選定することになった。

##### （6）国際戦略 WG

兵藤幹事長より、海外プロジェクトの取り組みや海外研究者との連携など本土木計画学も海外に目を向けないといけないという危機感を持って WG や幹事会で検討を始める旨報告があった。

以上  
文責 嶋田